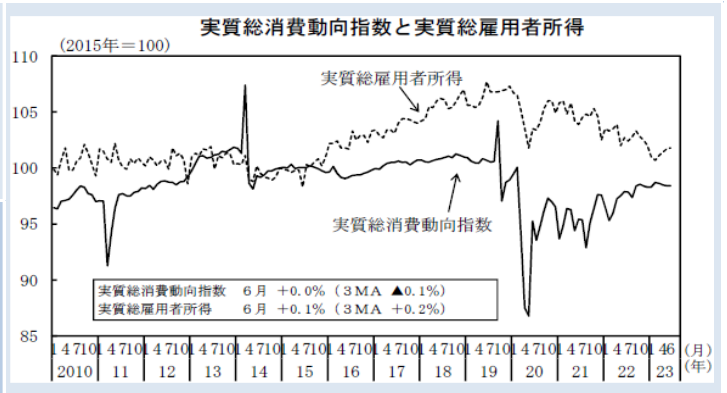


月例経済報告（2023年8月）

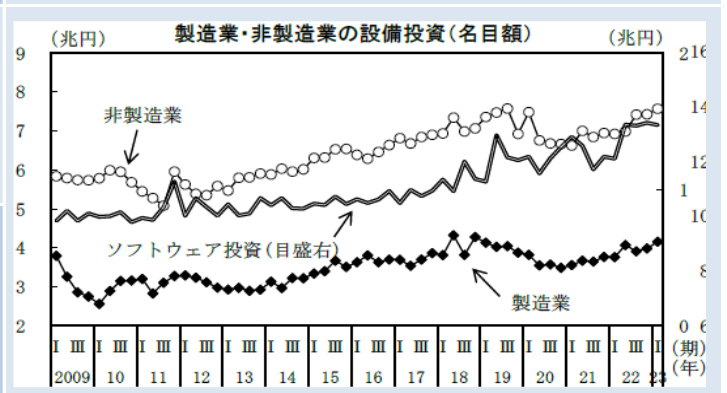
● 月例経済報告（8/28）

基調判断	(8月) 景気は、緩やかに回復している。 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
	(7月) 景気は、緩やかに回復している。 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

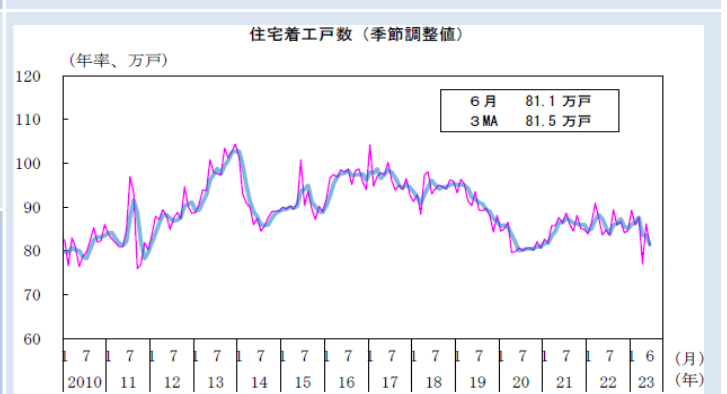
個人消費	(8月) 持ち直している。
	(7月) 持ち直している。



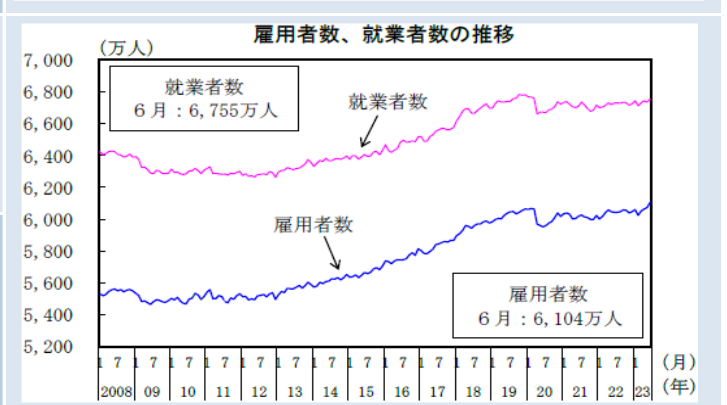
設備投資	(8月) 持ち直している。
	(7月) 持ち直している。



住宅建設	(8月) おおむね横ばいとなっている。
	(7月) 底堅い動きとなっている。



雇用情勢	(8月) このところ改善の動きがみられる。
	(7月) このところ改善の動きがみられる。



生産	(8月) 持ち直しの兆しがみられる。	<p>船工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2020年=100)</p>																
	(7月) 持ち直しの兆しがみられる。																	
輸出	(8月) <u>このところ持ち直しの動きがみられる。</u>	<p>地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2015年=100)</p> <table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>7月 +3.5%</td> <td>アジア</td> <td>7月 +4.5%</td> <td>アメリカ</td> <td>7月 +7.1%</td> <td>EU</td> <td>7月 +6.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA +1.6%</td> <td></td> <td>3MA +2.9%</td> <td></td> <td>3MA +0.9%</td> <td></td> <td>3MA +3.6%</td> </tr> </table>	全体	7月 +3.5%	アジア	7月 +4.5%	アメリカ	7月 +7.1%	EU	7月 +6.7%		3MA +1.6%		3MA +2.9%		3MA +0.9%		3MA +3.6%
	全体		7月 +3.5%	アジア	7月 +4.5%	アメリカ	7月 +7.1%	EU	7月 +6.7%									
	3MA +1.6%		3MA +2.9%		3MA +0.9%		3MA +3.6%											
	(7月) 底堅い動きとなっている。																	
国内企業物価	(8月) このところ緩やかに下落している。	<p>企業物価の推移 (2020年=100)</p>																
	(7月) このところ緩やかに下落している。																	
消費者物価	(8月) 上昇している。	<p>消費者物価の推移 (2020年=100)</p>																
	(7月) 上昇している。																	
海外経済	(8月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。	<p>世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。</p>																
	(7月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。																	

[月例経済報告：内閣府](#)